

# 健康 ぷらざ

## 病気発見の強い味方 —PETって何でしょう—

指導：東京大学大学院医学系研究科放射線医学 教授

大友 邦

企画：  
日本医師会

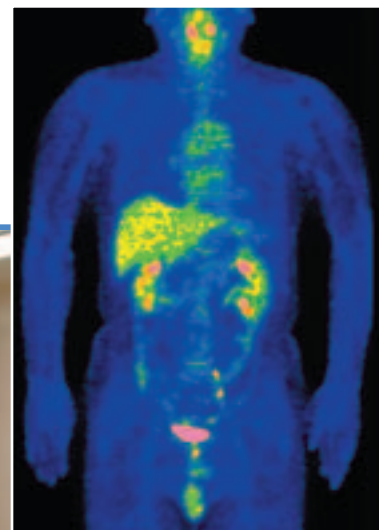
No. 188

### PETとは？

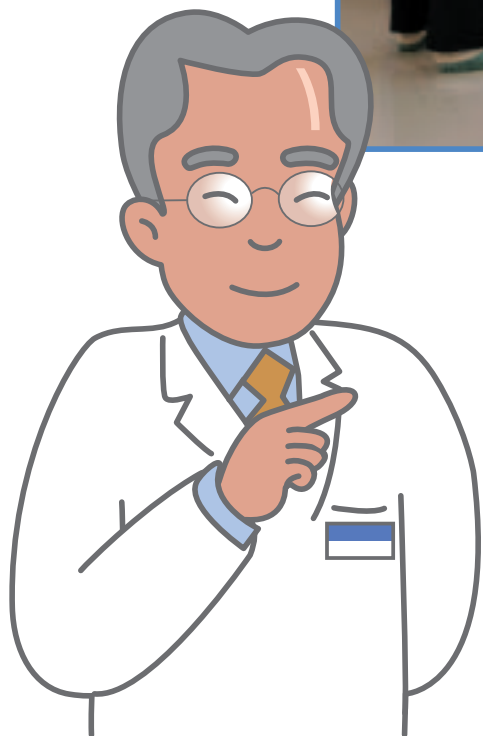
病院で「PET(ペット)」という言葉聞いたことがありますか？日本語では「陽電子放射断層撮影装置」といい、CTやMRIと同じように人体の断層像が見られる検査の一つです。特殊な放射線(陽電子)を放出する元素を含む物質を用いて、体の中のいろいろな臓器の働きの変化を観察したり、病気を早く発見できるのがPET検査です。



PET検査の様子



PETの画像



### がんの早期発見に威力

最近特に注目されているのが、陽電子を放出するフッ素を含むブドウ糖(FDG)を用いるPET検査です。一般にがん細胞は正常細胞の3~8倍の速度でブドウ糖を食べることから、がん細胞に取り込まれたFDGを目印にしてがんの位置を突き止めます。したがって、PETは小さながんの早期発見や、リンパ節や肝臓への転移の正確な診断に大変有効です。また正常な脳や心臓(心筋)にはもともとブドウ糖が集まりやすいため、血流の変化などを検出して病気を発見することができます。

### ただし万能ではありません

しかしブドウ糖をあまり取り込まないがんや5mm以下のごく小さいがんは、PETでも見つけるのが困難ですし、いつも炎症と正しく区別できるわけでもありません。PETは全国でも台数が少なく、保険がきく病気もありますが、まだまだ高価な検査です。PET検査をご希望であれば、まずかかりつけ医に相談してみてください。